

④ ヘッドレストを取り付ける

- ヘッドレストはお子様の頭を守る大切な部品です。下記警告を必ず確認しながら取り付けを行ってください。
- 調整ネジを『ゆるむ』の向きに回して緩めてください。
- 調整ネジ上部の穴に丸棒を差し込みます。
- ヘッドレストの高さを、お子様の頭に合わせ、調整ネジを『しめる』の向きに回して固定してください。



- ①調整ネジは左右2カ所を手で確実に締めつけてください。(図8)
締めつけに工具などの道具は使わないでください。締めすぎで樹脂ナットが破損するおそれがあります。



- ②ヘッドレストの高さ調整には上限がございます。丸棒に境界の印がありますので高くする際には、調整ネジ上面から、境界の印が出ないようにしてください。(図7)



- ③ヘッドレストは図9のように適正な高さに調整してお使いください。

⑤ シート止め方法と肩ベルト・股ベルト使用方法

- ①ハンドルポストにシート止めを巻きつけて、マジックテープで留めてください。
- ②お子様の股の間に股ベルトがくるように着座させてください。
- ③肩ベルトは、お子様の肩から股ベルトの方にまわし、バックルが(カチッ)と音がするまで差し込んでください。(図11)
- ④肩ベルトの長さは調整具で調整してください。(図11)

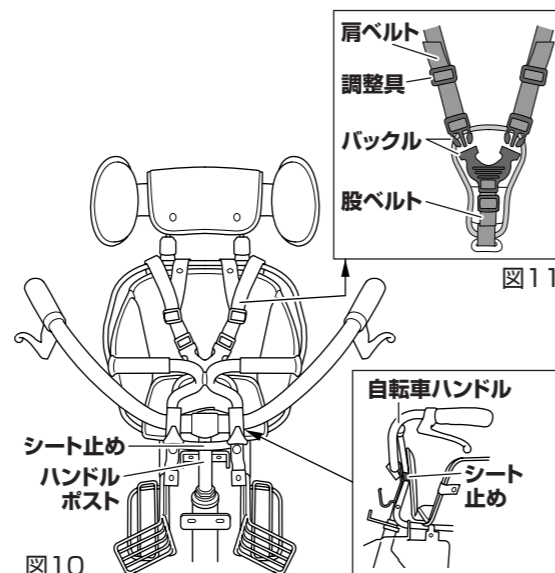
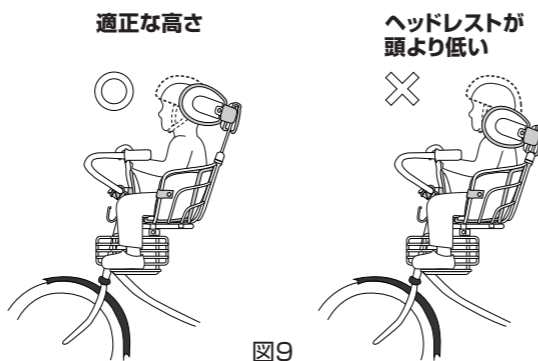
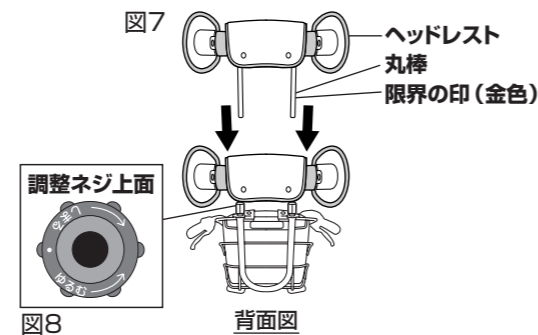


図11

図12

販売元：フリストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室 受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00

(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

フリーダイヤル：☎ 0120-72-1911

(フリーダイヤルは携帯電話・国際電話・インターネット電話でのご利用はできません)

A550220S
9, F

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これを守らないと事故につながったりケガをしたり製品がこわれるなどの恐れがあります。



この表示の欄は取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。



お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。
読まれたあとは大切に保管してください。(取り付ける自転車の取扱説明書もお読みください。)



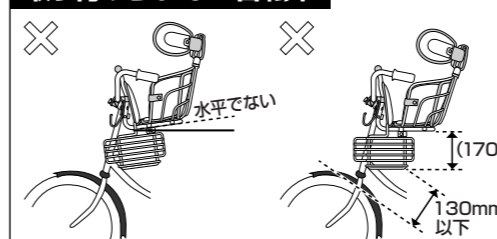
自転車にチャイルドシートを取り付けてお子様を乗せることにより、自転車のハンドル操作性や走行安定性が低下します。また、制動操作時に制動距離が長くなりますのでご注意ください。

注意事項

① お使いになれるお子様と取り付け可能自転車

- 使用適正範囲は1才以上で、体重15kg以下及び身長100cm以下です。
- 但しヘッドガードを上げると運転者の体に接触する場合があります。
- 取り付け可能な自転車は車輪サイズが24インチ以上28インチ以下のシティ車です。またタイヤモンド型フレーム等、フレーム形状によっては取り付けができない場合があります。
- 足乗せの内側後端から前輪(タイヤ)までが130mm以下になる自転車には、お子様の足が前輪に巻き込まれるおそれがあり危険ですので、取り付けしないでください。

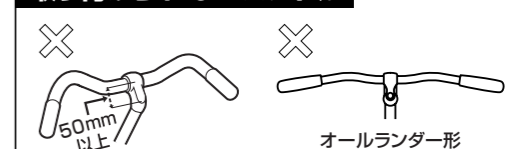
取り付けられない自転車



- 自転車のスタンドを解除して、お子様を乗せた状態で、座面が水平にならない場合は取り付けられません。
 - 足乗せの内側後端から前輪までが130mm*以下になる場合は取り付けられません。(足の前輪への巻き込み防止上)
- *SGマーク認定基準では「座面から前輪まで300mm以上は取り付けられない」ことから、300mm以下-170mm(座面より足乗せ後端まで)=130mm以下としています。

- ロードブレーキ仕様車には取り付けできません。

取り付けられないハンドル



- ハンドルステムの突き出し寸法が50mm以上の自転車には取り付けられません。また、ハンドル形状によっては取り付けできない場合があります。
- オールランダー形ハンドルの場合、前傾姿勢になるため、運転者の体がチャイルドシートに当たるので、取り付けできません。
- アルミ製ハンドルには強度上、取り付けできません。

- チャイルドシートの取り付けを禁止している自転車やハンドルには使用しないでください。
- スタンドを解除してお子様を乗せた状態で、座面が水平になっていることを確認してください。
- 普通の自転車に取り付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- 3人乗り(幼児2人同乗)自転車に取り付ける際には、販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を確認し、このチャイルドシート(品番A550220略号FCS-NAS)が指定されている自転車には取り付けすることができます。
- 必ずロック付きの両立スタンドと併用してください。一本スタンドやロックの無いスタンドの自転車には取り付けしないでください。
- 足の巻き込み防止のために、必ずフロントガードと併用してください。フロントガードの無い自転車は必ず取り付けでご使用ください。
- より安全にご使用いただくために、パーキングストッパー等、前輪固定機能付の自転車を使用してください。

②取り付け時

- より安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店での取り付けをお願いすることをお勧めいたします。
- 取り付けの際、座面を水平にする必要があります。取付図を参考に、水平になる箇所で取り付けてください。

③ご使用时

- 使用するときはチャイルドシート（ハンドルフック・ポストロック）が確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- ハンドルの形状やフレームの形状によっては、ハンドルを切った際にチャイルドシートの足乗せがフレームに当たる場合がありますので、ハンドル位置やハンドルポストの高さを販売店で調節してください。
- お子様は荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- ハンドルポストは限界線以上に上げないでください。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。
- お子様には必ず靴を履かせて使用してください。
- お子様を乗せ降ろしする時は、お子様が足乗せに体重をかけて、よじ登らないようにしてください。足乗せに無理な力がかかり、こわれるおそれがあります。
- 必ず肩ベルト・股ベルトを使用してください。
- 肩ベルト・股ベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子様の首に肩ベルトがかからないように注意してください。
- お子様がグリップをしっかりと握るようにしてください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。ヘルメットを着用させないで幼児座席にお子様を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなります。また、運転者もヘルメットを着用されることをおすすめします。
- お子様を乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれる事の無いように注意してください。

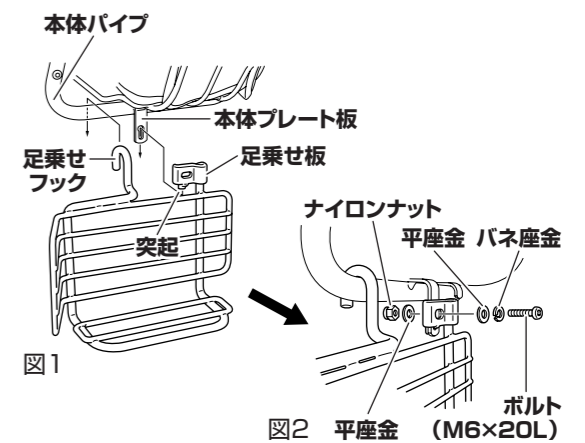
- ハンドルポストにカバーがついている場合には、カバーを取り外してから取り付けてください。
- 自転車のハンドルを上下させる必要があるときは、必ず販売店に相談してください。
- 自転車の前輪錠にお子様の手足が届かないように取り付けてください。（前輪錠装備車の場合）

- 足乗せにお子様を立たせないでください。不安定になります。また足乗せがこわれるおそれがあります。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がけがを負う危険があります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- 普通の自転車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれ使用できるお子様の年齢、体重及び身長範囲を守ってください。
- お子様が走行中に前輪錠を操作しないように充分注意してください。
- 傘を差しながらの走行はしないでください。
- ハンドルフックなどにレジ袋などを引っかけないでください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 使用にあたっては交通法規を守ってください。
- ヘッドレストは必ず適切な高さに調節してご使用ください。
- お子様が1人でチャイルドシートに乗り降りしないようにしてください。自転車が倒れて、お子様がけがを負う危険があります。
- お子様を乗せ降ろしする時は、地面が平らで安定した場所に自転車を駐輪してください。
- チャイルドシートをハンドルに取り付けると、運転者の足や体に接触しやすくなるため、運転しづらくなったり、自転車に乗り降りしづらくなる場合があります。このため十分に慣れて安全に運転できることを確かめてから、ご使用ください。

取付図

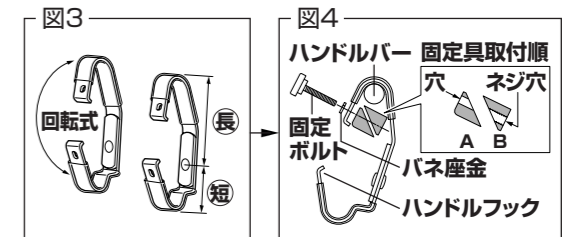
① 足乗せを取り付ける

- ①本体プレート板の穴に足乗せ板の突起を通し、互いの穴位置を合わせてください。（図1）
 - ②本体パイプに足のせフックを引っ掛けてください。（図1）
 - ③足乗せ板と本体プレート板の穴に、図2の順序でボルトを通し、ボルトとナイロンナットを締め付けて、足乗せを本体に固定してください。
- ☆締め付けの途中で足乗せがずれないように注意してください。
- ☆ナイロンナットは締め付けの途中で固くなりますが、最後までしっかり締め込んでください。
- ☆締め付けトルク：5～8N・m
- ☆スパナサイズ：10mm



② ハンドルフックでハンドルバーに取り付ける

- ☆ハンドルフックは図3のように回転式となっており、㊤㊦の選択ができます。
- まず、自転車のハンドルバーにハンドルフックを引っ掛けて、下記の事を確認し、㊤㊦の選択をしてください。
- ㊤を使用すると、座面が高くなります。
 - ㊦を使用すると、座面が低くなります。
- なるべく座面が低くなる、㊦をご使用ください。
- ①ハンドルをまっすぐにした状態から片側に60度ハンドル操作した際に、自転車フレームに足乗せが当たる場合は、㊤を使用してください。
 - ②選択したハンドルフックをハンドルバーに引っ掛けて、図4のように固定具を装着し、固定ネジでしっかりと締め付けて固定してください。
- ☆固定ボルトを、固定具Bのネジ穴に斜めにネジ込まないように注意してください。
- ③両側のハンドルフック共に同じように固定してください。



③ ハンドルポストに固定する

- ☆図6を参考に次の手順で固定してください。
- ①ハンドルポストの、ハンドルポスト板が当たる位置にポスト保護材を取り付けてください。
 - ②ポストロックをポスト保護材のクリップ部に入れながら、ハンドルポストをはさんでポスト板に合わせ、ネジ類で締め付けて固定してください。
- ☆ナイロンナットは締め付けの途中で固くなりますが、最後までしっかり締め込んでください。
- ☆締め付けトルク：2.5～4N・m
- ☆スパナサイズ：8mm
- ☆左右のネジがしっかり締まっているか、最後に確認してください。
- ☆取り付ける自転車の形状によって組み付けづらい場合は、ネジを逆方向から組み立ててください。

